

- (1)本課題は、各種宅内配線をするものである。
- (2) 配線課題A【30分】、配線課題B【60分】の合計90分(途中30分の休憩有)とする。なお、配線課題A→配線課題Bの順番で行う。
- (3)配線課題A及びBの内容は非公開とする。
- (4)配線の方法、TOの位置等は、Fig.6～Fig.8、Table3-A,3-B(当日公表)に基づくこと。
- (5)配線方法は現実の宅内を想定したものとする。
- (6)配線課題A終了時には、競技委員が配線課題Aの採点ポイントのみ確認する。また、写真等により出来型を保存する。
- ~~(7)配線課題B時に、指定されていない部材を配線課題Bの出来型に追加して使用してはいけない。~~
- (7)通線作業では、通線器を使用すること。なお、DB-1と外壁との通線は両手を使い配線しても良い。
- (8)2連スイッチボックスのCD管取り付け位置は、左右どちらでも可とする。
- (9) 予め取り付けられているCD管のゆがみを直したり、サドル位置を変えることができる。競技開始前でも可能。
- (10)スイッチボックスは2箇所留めでも良いが、ガタツキがないようにしっかり固定すること。
- (11)らくワーク用の添え木(柱の想定)をブースに取付けた後に、らくワークの取付けをすること。
- ~~(12)外線からのTELケーブルがある場合は、TO-4で戻し配線すること。~~
- (12)光ケーブルの配線施工では、可視光検査を行うこと。
- (13)TO-1の表記は向かって左からTO-1(1)とする。
- (14)外壁の収納BOXは設置しなくても良い。
- (15)コンセントプレートへのラベリングを行うこと。各プレートにTOの番号とTable3を参照したジャック位置を表示すること。
- (16)各TOを別の部屋に配置すると想定する場合は、まとめた作業は禁止する(ただし、CD管取付けやBOX、サドル取付けなど可)。
- (17)養生シートや工具は、**課題B**終了時に片付けなくても良い(片付けても良い)。ただし、出来型が明確になるように整理すること。また、ゴミ等がある場合は減点とする。
- (18)全てのケーブルにラベリングすること。なお、DB-1内のケーブルは行先表示とすること。その他は、任意とする。

(19)DB-1取付け後は石膏ボードがある想定であり、壁内部に触れるような施工は不可とする。**ただし、配線課題B  
施工中でやむを得ない場合は可とする。**

(20)DB-1の電源孔は使用しないこと。また、電源ケーブルを導入できる状態にしておくこと。

(21)競技ブースのパネル(高さ1800mm)より上の整線については、採点の対象外とする。

(22)光インドアケーブルをDB-1内に導入する場合は、適切な余長を確保すること。

(23)外壁に出るケーブルは切り詰めても良い。

(24)TELケーブルの結線時に、余った1ペアは切断せずに外被に巻きつけておくこと。

(25)同軸ケーブルの配線のみ、**Table3で特に指示がない場合は**、CD管へ通線せずにCD管へ捕縛しても良い。

(26)Table3-AからTable3-Bの変更箇所は、以下の指示に従い作業すること。

- ・接続ケーブル名が削除→対象ケーブル撤去(ただし、同軸ケーブルの場合は撤去しなくて良い。)
- ・ケーブル接続先のポートNo.が削除→ポートからプラグを抜く。

(27)配線課題A時に、配線課題Bを想定して呼び線を入れておいても良い。

(28)TOが取り付けられていない場所は、石膏ボード等が取り付けられておらず、未施工場所とみなす。